

Risk of COVID-19 Disease, Dialysis Unit Attributes, and Infection Control Strategy among London In-Center Hemodialysis Patients

Caplin B, et al. August 2021, 16 (8) 1237-1246; DOI: <https://doi.org/10.2215/CJN.03180321>

全文 URL : <https://cjasn.asnjournals.org/content/16/8/1237>

ロンドンの血液透析患者における COVID-19 疾患のリスク、透析施設の属性、および感染制御戦略

〔背景と目的〕

血液透析治療を受けている患者は、COVID-19 のパンデミックによって特有の課題に直面している。特に透析治療を継続するためには自己隔離ができないことは大きな問題だ。透析施設内の COVID-19 感染割合を低下させる可能性のある透析施設の属性と隔離戦略の有効性については、これまでに検討されていない。

〔デザイン、セッティング、参加者、測定方法〕

2020 年 3 月 2 日～2020 年 5 月 31 日に英国ロンドンの透析施設で血液透析を受けている患者を対象に、地域の疾患負担、透析施設の属性（規模とレイアウト）、および感染対策戦略などを含む変数が、COVID-19 の感染割合に及ぼす影響を検討した。2 つのアウトカムを [1]、[2] の様に定義した（[1] 感染症検査が陽性または COVID-19 疑いで入院、[2] 感染症疑いで入院）。関連性は、discrete time multilevel time-to-event analysis を用いて検討した。

〔結果〕

対象期間に、51 施設で透析を行っている 5,755 人の患者のデータを解析したところ、990 人（17%）が陽性反応を示し、465 人（8%）が COVID-19 の疑いで入院した。アウトカムは、年齢、糖尿病、地域住民の COVID-19 感染割合、透析施設の規模と関連していた。空いている隔離透析用の部屋数が多いこと（隔離用の部屋がない場合は患者間の物理的距離の確保）や、無症状の患者に対するマスク装着規定の導入は、アウトカムと逆相関した。性別、民族、貧困指数、および異なる隔離方法はアウトカムと関連がみられなかった。

〔結論〕

透析施設で血液透析を受けている患者における COVID-19 の発生割合は、個人的要因、生活地域での感染状況、透析施設の規模およびレイアウトに関連する。

要約作成者のコメント：

COVID-19 のパンデミックに伴い、多くの透析施設で感染拡大を予防するための対応を余儀なくされている。これまでに、透析施設レベルで、感染リスクを減らす要因については十分に検証されてこなかった。本研究は、英国の透析施設を対象にしており、本邦の透析医療の状況（施設当たりの患者数や施設の広さなど）と異なる点も少なくないと推察される。しかし、本邦で感染対策として広く行われているマスクの装着や隔離スペースの確保が感染予防において重要である可能性を示したという点で貴重な報告である。